

②<近隣クリニックとの協同>

かかりつけ医からの紹介により、当院へ入院依頼があったケース

独居の高齢者が、家から近い整形クリニックをかかりつけ医として慢性的な腰痛を診てもらっていた。加齢と日常生活を過ごしていくなかで腰痛が悪化し、立ち上がりが困難になり、クリニック医師は入院での治療が必要と判断。本人の希望を直接伺い、新生病院への入院を希望されたため地域連携室宛に入院依頼を行う。医療相談員が情報確認と調整を行い、地域包括ケア病床が適切と判断し、同病棟へ入院となった。